

② 課題設定の工夫

ア 単元全体を通しての課題挑戦

児童一人一人にとっては、それぞれの技を正確に行い、スムーズな連続技ができ、技を組み合わせた創作活動ができるようになることや、友達とどのように協力できるかが単元全体の学習課題になる。

特に、単元後半の発展学習において一つ一つの技がより正確になって創作意欲が高まり、協同学習が深まって、児童一人一人の課題が達成されていくと考えた。

イ 興味・関心と意欲を高める課題

図5のように、コース別学習では、既習の技を組み合わせたものと、既習の技と新しい技を組み合わせたものを準備し、児童一人一人の課題に応じて興味・関心を高め、個の「よさ」を生かし、意欲的に学習に取り組めるようにした。

(図5)



イエロー コース

名前(〇子)

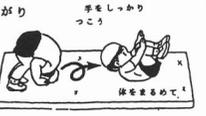
<p>そく方ころがり 右にも左にも</p>  <p style="text-align: center; font-size: small;">かたからつこう</p>	<p>立ちひざから横に まっすぐにまわろう。 右にも左にもまわ ろう。</p>	
<p>後ろころがり 手で押しあげる</p>  <p style="text-align: center; font-size: small;">体をまるめて</p>	<p>からだをまるくし て両手でマットをお してみよう。</p>	
<p>前ころがり</p>  <p style="text-align: center; font-size: small;">うでをしっかり つこう</p>	<p>りょううでに体重 をかけてまっくなっ てまわろう。</p>	
<p>台上での前ころがり せなかをまるめて</p>  <p style="text-align: center; font-size: small;">こわがらないで</p>	<p>とびばこの上で、 手をつけてまっすぐ ころがってみよう。</p>	
<p>できた日 7月 10日</p>		

○既に学習した4つの技を組み合わせたコース



ブルー コース

名前(〇子)

<p>横ころがり 右にも左にも</p>  <p style="text-align: center; font-size: small;">体を解ばして</p>	<p>横にまっす くころがろう。</p>	
<p>後ろころがり 体をまるめて</p> 	<p>からだをまる くし両手でマ ットをおして みよう。</p>	
<p>前ころがり 手をしっかり つこう</p>  <p style="text-align: center; font-size: small;">体をまるめて</p>	<p>りょううでに 体重をかけて まっくなっ てまわろう。</p>	
<p>とびあがり とびおり 速くに</p>  <p style="text-align: center; font-size: small;">いきおいを つけて</p>	<p>うでをしま りつけてマ ットにとび あがり、 むねをは って速く にとんで みよう。</p>	
<p>できた日 7月 10日</p>		

○既に学習した4つの技を組み合わせたコース



ピンク コース

名前(〇子)

<p>後転</p>  <p style="text-align: center; font-size: small;">立ってみよう</p>	<p>まっすぐにむり なくまわ ろう。 まわったいき おいでお きあが ろう。</p>	
<p>前転 立ってみよう</p>  <p style="text-align: center; font-size: small;">マットを けて 大きく 上体をまる めて</p>	<p>からだを小さ く丸めス ピードを つけて まわ ろう。 まわった いきおい でお きあ が ろう。</p>	
<p>かた足水平立ち しっかり解ばして</p>  <p style="text-align: center; font-size: small;">踏かないで ひざをの ぼす</p>	<p>りょううで を水平 にし、 からだ もゆか か と水 平に なる ま で ま げ て 2 び よ う い じ よ と ま ろ う。</p>	
<p>開きやくとび まっすぐつこう</p>  <p style="text-align: center; font-size: small;">いきおいを つけて 速くに</p>	<p>スピー ドの ある じ よ う か ら、 強 く ふ み き っ て 速 く ま で と ぼ う。</p>	
<p>できた日 7月 12日</p>		

○既に学習した技と4年生で学習する技を組み合わせたコース